

国土交通省より

■ 「TSUNAG 認定」の第1号を認定！～良質な緑地を確保する14件の計画を認定しました～ 【都市局 都市環境課】

○令和7年3月18日付で、都市緑地法に基づき、14件の優良緑地確保計画を認定しました。

1. 「TSUNAG認定」とは

- ・国土交通省では、「まちづくりGX」の一環として、令和6年11月に施行された改正都市緑地法に基づき、優良緑地確保計画認定制度（TSUNAG：ツナグ）を創設いたしました。
- ・TSUNAGは、企業等による良質な緑地確保の取組を、気候変動対策・生物多様性の確保・ウェルビーイングの向上といった観点から、国土交通大臣が評価・認定する仕組みです。

2. 認定優良緑地確保計画

14件 ※詳細は制度HP（<https://tsunag-mlit.com/>）をご覧ください。

3. TSUNAG認定式

日時：令和7年4月25日（金）11:00～12:00

場所：三田共用会議所（東京都港区三田2-1-8）

出席者：国土交通大臣※、認定事業者（※大臣の予定は公務の都合上変更となる場合があります。）



■認定優良緑地確保計画の一覧（2024年度）

※本表は、認定ランクの上位順に記載。同一ランク内においては、事業実施区域の所在地の市区町村コード順に記載。同一市区町村内においては、事業の名称の五十音順に記載。

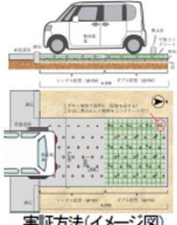
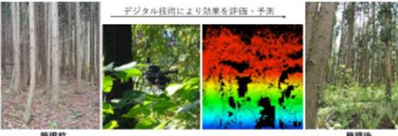
認定ランク	事業の名称・申請者の名称	事業実施区域の所在地
★★★	新柏クリニック	千葉県柏市
	医療法人社団中郷会 新柏クリニック	
	竹中技術研究所（調の森 SHI-RA-BE）	
	株式会社竹中工務店	千葉県印西市
	大手町タワー（大手町の森）	
	東京建物株式会社	東京都千代田区
	赤坂インターシティAIR	
	日鉄興和不動産株式会社、赤坂インターシティマネジメント株式会社	
	麻布台ヒルズ	東京都港区
	森ビル株式会社	
	東京ポートシティ竹芝オフィスタワー	東京都港区
	東急不動産株式会社	
	MUFG PARK	東京都西東京市
	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ	
★★	KX-FOREST KARUIZAWA 鹿島軽井沢泉の里保養所	長野県軽井沢町
	鹿島建設株式会社	
	グラングリーン大阪	大阪府大阪市
	グラングリーン大阪開発事業者JV8社（三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、うめきた開発特定目的会社）、一般社団法人うめきたMMO	
★	新梅田シティ	大阪府大阪市
	積水ハウス株式会社、野村不動産株式会社、ダイハツディーゼル梅田シティ株式会社、ウェスティンホテル大阪	
	大丸有地区（ホトリア広場・一号館広場・丸ビル外構）	東京都千代田区
★	三菱地所株式会社	
	BLUE FRONT SHIBAURA	東京都港区
	野村不動産株式会社、東日本旅客鉄道株式会社	
★	シチズン時計 東京事業所（CITIZENの森）	東京都西東京市
	シチズン時計株式会社	
	BRANCH神戸学園都市	兵庫県神戸市
	大和リース株式会社	

詳細はこちらから ▶▶▶ 「TSUNAG認定」の第1号を認定！～良質な緑地を確保する14件の計画を認定しました～
（https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07_hh_000274.html）



■「グリーンインフラ創出促進事業」 公募の選定結果について

- 民間企業が有する新たなグリーンインフラ技術の実証を行う「グリーンインフラ創出促進事業」の公募を行い、審査の結果、4事業を選定しました。今後、当該技術等を用いて実証フィールドでの検証を行い、その実用可能性などをとりまとめる予定です。

応募者	応募名称、開発技術の概要
公益財団法人 地方経済 総合研究所	応募名称：地域材（竹、稲わら等）を活用した雨水貯留機能に関する多面的評価 豪雨被災や半導体ビジネス関連企業の集積による「公共水」への依存度増加などにより、既存の地下水涵養の取組や条例等によるネガティブインパクトを軽減させる自治体施策だけでは、ウォーターニュートラルの達成は困難な状況にある。このため、地域材（竹、稲わら等）を活用した雨庭や竹筋コンクリート舗装の駐車場を実装し、浸透能等の検証を行うとともに、多面的な機能評価・社会インパクトを整理することで、技術的な配慮事項を取りまとめる。 [実証フィールド：熊本県球磨郡あさぎり町] 
鹿島建設 株式会社	応募名称：緑地・森林の地下水涵養機能増進に向けた緑地・森林管理影響評価手法の標準化 緑地・森林に対する管理方法の差異が地下水涵養機能に与える効果は地域差が存在すると想定されるが、既往研究では地域差を反映させるためのパラメータの調整方法等は明らかとなっていない。このため、当該機能に関連する各種要素に着目し、様々なタイプの緑地・森林を調査するとともに地域特性を反映させるモデル調整手法を確立する。デジタル技術を活用し、緑地・森林管理による水源涵養機能の向上効果を評価・予測 [実証フィールド：神奈川県伊勢原市、長野県軽井沢町、北海道札幌市 等] 
株式会社 NTT データ	応募名称：高解像度の衛星画像データとAIを活用した「みどり」のモニタリング・評価技術 都市の緑地をグリーンインフラとして効果的に活用するためには、効率的に高精度な「みどり」のデータを収集し、地方公共団体等における計画等での活用や民間企業による緑化の取組等を促進することが求められる。このため、衛星画像データとAI解析により、効率的に高精度な「みどり」のデータを収集し、関係する認定制度や国際的な基準等における評価や生態系サービスの評価を自動算出する手法を開発する。 [実証フィールド：神奈川県川崎市] 
GI ユニット 研究共同体 (東邦レオ株式 会社、学校法人京 都産業大学、株式 会社オルタナテ ィヴ・マシン)	応募名称：自然機能の強化と補完的な構造による自己完結型グリーンインフラ・ユニットの開発 気候変動に伴う猛暑や豪雨への対策として、グリーンインフラの迅速な展開が求められるが、従来型整備では、設計・施工の検討や予算確保に時間を要し、また維持管理のコストも導入の制約となる。このため、集水効率を高める構造システム、再生可能エネルギーによる自律的な制御機構、微生物を活用した生育環境の最適化技術を開発・統合し、設置場所に水道・電力インフラを必要としない、自己完結型のグリーンインフラ・ユニットを開発する。 [実証フィールド：三重県いなべ市] 

詳細はこちらから ▶▶▶「「グリーンインフラ創出促進事業」 公募の選定結果について」(https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000340.html)



令和6年度第1～3回グリーンインフラ懇談会を開催しました

- 令和7年2月4日（第1回）、3月11日（第2回）、3月28日（第3回）にグリーンインフラに関連する国内外の社会情勢の変化や、取組を進めていく中で見えてきた課題等を踏まえ、今後さらにグリーンインフラを量的に拡大させて普遍化していくことを目指すとともに、その先の国際展開を見据えて幅広く議論するため、グリーンインフラ懇談会を開催いたしました。
- 議事概要、当日資料などの懇談会情報については、国土交通省HPの「グリーンインフラポータルサイト」ページ内に掲載予定です。
- 本会議は一般の方も傍聴可能です。傍聴を希望される場合は、次回以降も開催にあたってプレスリリースを行いますので、ご確認の上、ご登録ください。

詳細はこちら ▶▶▶「[国土交通省HP_グリーンインフラポータルサイト](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000017.html)」(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000017.html)

■ 会員情報 2,036人・団体（2025年1月21日時点）

● 新たな一号会員

- ・京都府 長岡市
- ・東京都 千代田区

● 新たな二号会員

- ・国土交通省 不動産・建設経済局 土地政策課

● 新たな三号会員（民間企業、学術団体等）

- ・株式会社AdvanSentinel
- ・株式会社マブリィ
- ・株式会社やまびこドローン
- ・The Blue株式会社
- ・東亜道路工業株式会社

- ・株式会社ダイワ技術サービス
- ・特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所
- ・日本電気株式会社
- ・大日本タイヤコンサルタント
- ・東亜建設工業株式会社
- ・ミネバアミツミ株式会社